

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 ・定時株主総会 毎年3月31日
・期末配当金 毎年3月31日
・中間配当金 毎年9月30日
その他必要あるときは、あらかじめ公告します。

株主名簿管理人 大阪府大阪市中央区北浜四丁目5番33号
住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番4号
住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701
東京都府中市日鋼町1番10
住友信託銀行 証券代行部

(電話照会先) (住所変更等用紙のご請求) ☎0120-175-417
(その他ご照会) ☎0120-176-417

(インターネットホームページURL) <http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html>

同 取 次 所 住友信託銀行株式会社 全国本支店
大和証券株式会社 全国本支店
日本証券代行株式会社 全国本支店

公 告 方 法 当社のホームページに掲載します。
<http://www.japanservo.jp/>
ただし、やむを得ない事由が生じた場合には、
日本経済新聞に掲載します。

1単元の株式の数 1,000株

単元未満株式の買取
●買取請求取扱場所 上記株主名簿管理人がお取扱いします。
●買取手数料 株式の売買の委託に係る手数料相当額として別途定める金額

上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 市場第2部

証 券 コ ー ド 6585

SERVO
All for dreams

日本サーボ株式会社

営業本部 〒141-0001 東京都品川区北品川五丁目9番地11号
TEL.03-6702-0500(代) FAX.03-6702-0505

事業本部 〒376-0011 群馬県桐生市相生町三丁目93番地
TEL.0277-53-8811(代) FAX.0277-53-8810
URL : <http://www.japanservo.jp/>



このパンフレットは、地球環境への負荷を低減させるために大豆インクを使用しています。

日本サーボ株式会社

株主 通信

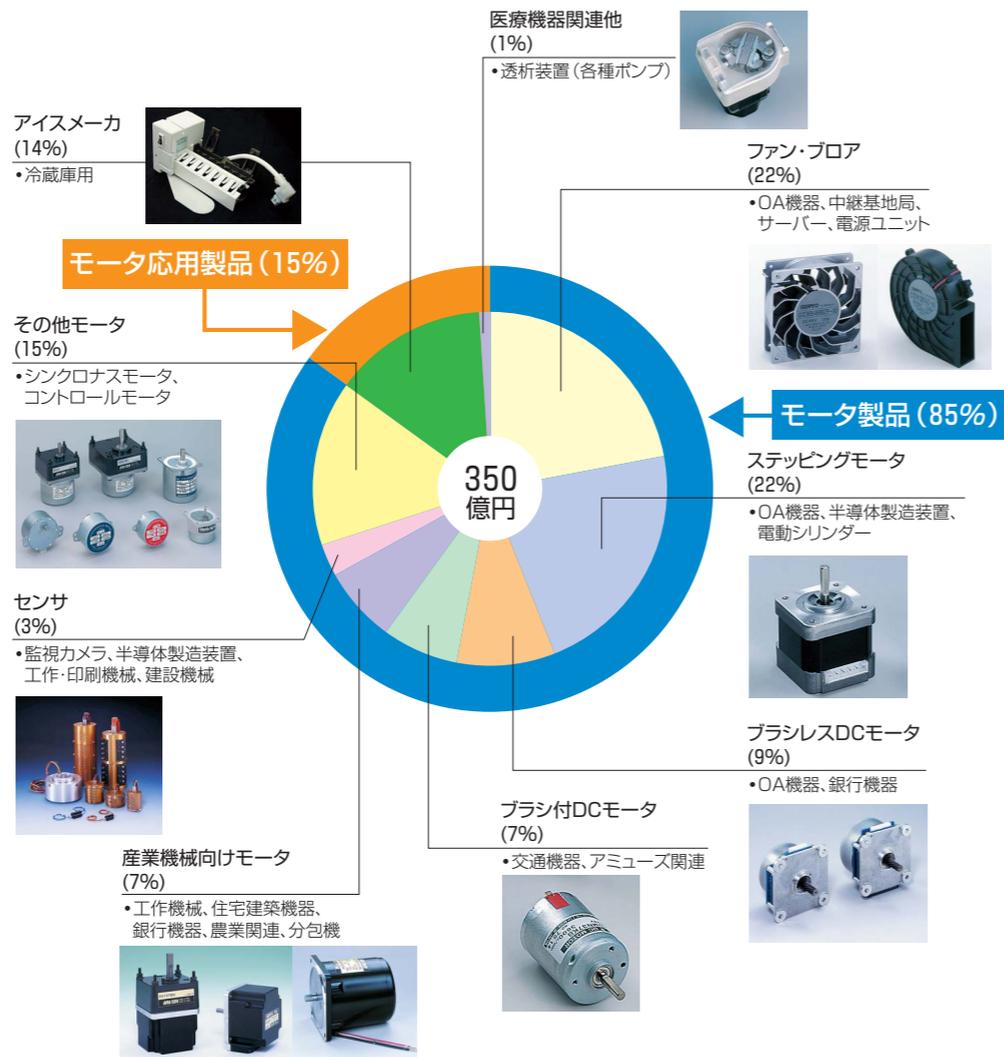
第73期事業のご報告

2007年4月1日～2008年3月31日



SERVO
All for dreams

事業区分別売上高 (2007年4月～2008年3月)



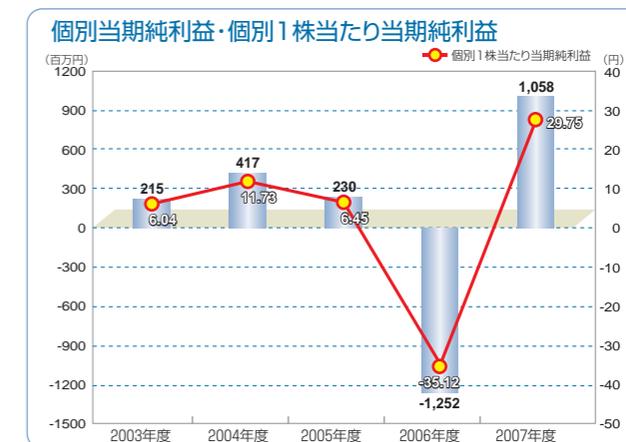
【表紙の写真】
ファン新製品の静翼付きGシリーズ(左下)とGentleTyphoonシリーズ(右上)です。静音・高風量・高静圧を実現し、お客様から高い評価をいただいております。

財務ハイライト

《連結》



《個別》



2007年度決算は、営業利益、経常利益及び当期純利益のすべてにおいて過去最高を更新

Q 営業利益、経常利益及び当期純利益が、ともに過去最高を24年ぶりに更新できた主な要因は何ですか。

田島社長 日本電産流の経営手法を導入して改革に努めたことが、2期連続の経常赤字から黒字転換したのみならず今回の最高益実現ということにつながったと思いますが、そのなかで特に重要な要因は次の3つです。

まず挙げられるのは、「3Q6S活動」の導入開始です。「6S」というのは整理、整頓、清掃、清潔、作法、躰の6つの頭文字を取ったものです。職場の清掃や整理・整頓はどこ職場でも必要なものですが、製造業においては、機械の手入れや部品・工具の整理など「6S」を徹底して行うことが特に重要になります。今までも整理・整頓等は実施していたのですが、日本電産グループ入りした後、「3Q6S活動」の理念を共有することで徹底的に行われるようになりました。機械の手入れなどを徹底的に行うことにより、より良い品質の製品を生み出すという製造業の原点に立ち返ることができました。今後は「6S」を発展させることで、良い社員(Quality Worker)、良い会社(Quality Company)、良い製品(Quality Products)という「3Q」につなげていきたいと考えております。

次に挙げられるのは、「事業所制」の導入です。「事業所制」というのは、製造部門、開発部門、営業部門及び管理部門というように、業務の機能によって4つの本部を設立し、それぞ

れが独立採算制を取ることによって、それぞれの責任をきちんと明確にして事業運営をしていくというものです。海外工場もひとつくりにするのではなく、利益責任を持つ別個独立の事業所として位置づけることにより、工場従業員の意識も変わり、それぞれが利益責任を持って運営していくという意識が定着して、独自の利益改善活動が盛んになりました。

最後に挙げられるのは、「経費削減と調達力」の強化です。単に「経費削減」と唱えるだけではなく、その経費支出が本当に必要なものであるかについて徹底的に吟味し、必要な支出についても粘り強く見直しを行うことで大幅に経費を削減することができました。原材料などの「調達」については、日本電産グループの人的・物的両面における全面的な支援を受け、調達先の見直し等も含め抜本的な改革を行いました。モータ専業メーカーである日本電産グループ入りにより、調達先や調達原材料が共通する部分も多くなって、相乗効果は非常に大きなものとなりました。

以上の諸要因によって、短期間で赤字から黒字に転換しただけでなく、過去最高益を実現するに至ったと考えております。

Q 今年度の方針について教えてください。

田島社長 昨年度は、再建の基礎固めをするための1年でした。2007年度に導入した「3Q6S活動」「事業所制」「経費削減・調達力強化活動」等については今後もより充実させて継続し、一層加速させていきます。

当社が今後、より一層の飛躍をするためには、「新たな市場・顧客を開拓」するとともに、「新製品を投入していくこと」が必要です。営業部門が積極的にお客様のところへ伺ってお客様のニーズをお聞きし、開発部門と密接に連携をとることによって、お客様のニーズを的確に反映した新製品を開発していきます。

製品別に見ていきますと、まず「ファン・ブローア」については、定評をいただいている高信頼性・高静音性のファンでシェアNo.1を目指します。次に、「ステッピングモータ」については、OA機器市場での大幅な伸張を目指し、本年10月には現在ベトナムに建設中の新工場がステッピングモータ製造拠点として生産開始する予定です。

さらに、「産業機械向けのモータ及びセンサ」については、当社得意技術を組み合わせた製品群を充実させ、お客様の多様なニーズに応えていきます。最後に「システム製品」についてですが、分野を特定し、絞り込んでいこうと考えており

ます。具体的には、主要製品である冷蔵庫用のアイスメーカーでグローバルな高シェアを維持するとともに、高い技術力を発揮出来る医療機器分野でのシステム製品で海外市場を開拓していきます。

以上の方針に従い、売上目標として2008年度360億円、2010年度には500億円を目指して事業を展開して参ります。

2008年6月



代表取締役社長 田島 卓也

ステッピングモータ&ドライバ

当社のステッピングモータ&ドライバは、情報機器向け製品開発を原点として、OA機器・産業機器用途向けに、高精度な位置決め精度と低振動を追求して製品開発を進めて参りました。

- 従来から幅広く採用されてきた角型ハイブリッドステッピングモータに3次元磁場解析・ロバスト手法を活用して磁気回路の最適化を行うことにより、高回転精度・高トルク・低振動を実現した丸形タイプを新規に製品化したしました。
- 独自の制御技術で「FWDシリーズ」を商品化しております。ロータ位置の監視、励磁タイミングをセンサを使用せずに制御する新方式により、過酷な環境下でも高信頼度な高速動作を実現しております。



ブラシレスDCモータ

当社のブラシレスDCモータは、音響機器向け製品開発を原点として、OA機器・産業機器・医療機器の用途向けに、一貫して低コギング、高回転精度、低振動を追求して独自の技術開発に取り組んでおります。

- カラーPPC等の特に高精度な回転精度が要求されるOA機器向けに、独自の低コギング構造を採用したブラシレスDCモータを製品化しております。当社の製品は、低速から高速まで安定した高回転精度と、低振動化で他社製品と差別化を実現しております。
- 低速から高速まで安定した回転と、低振動・低騒音の特長を活かして人工透析装置等の医療機器用途や、計量装置などの産業機器用途に採用されております。



ファン・ブローア

当社のファン・ブローアは、OA機器向け製品開発を原点として、通信機器、サーバー、産業機器の用途向けに、徹底した静音化と高信頼化の技術開発に取り組んでおります。

- 流体解析技術(CFD)を活用した最適設計システムで静音効果を追及し、徹底した静音化の技術開発に取組み、随所に業界初の試みを採用して、市場ニーズを先取りした製品を開発、差別化製品としてお客様に提供しております。
- 高風量製品や、大型ファン・ブローアでは消費電力が重要なポイントになります。特に、複数台使用するサーバーや、通信機器では電源容量が大きくなり高効率で高信頼度な製品が求められます。当社では、この様な用途向けに高効率のファンモータを多機種ラインアップしております。



センサ

当社のセンサは、工業計器向け製品開発を原点として、産業機器用途向けに、高信頼性を追求して参りました。

- ロータリエンコーダは、磁気式・光学式の2タイプを揃え、計測機器・OA機器から自動制御装置・産業用ロボットまで、あらゆる用途に対応しております。
- ポテンショメータ&トリマは、米国航空宇宙局(NASA)の宇宙開発によって急速に発展した精密可変抵抗器で、回転角や直線的な変位量をアナログ量で正確に検出するセンサとして民生及び産業分野で幅広く利用されております。
- スリップリングは、配線の複雑な引き回しや疲労による断線を避けるために、曲げや動きの激しいロボット関節部に最適なユニークな製品です。



ベトナム新工場 建設中



(新工場完成予想図)



(Saigon High-Tech Park鳥瞰図)

当社は、主力製品のひとつであるハイブリッド・ステッピングモータの増産に対応するため、ベトナム社会主義共和国ホーチミン市のサイゴンハイテクパークに新工場を建設中です。工事は順調に進んでおり、本年7月末に建屋を完成させ、10月には生産を開始する予定です。

この新工場において、OA機器・産業機器用として制御性に優れたハイブリッド・ステッピングモータを主に生産します。モータに必要な部品から組立てまでを一貫して生産できる体制を構築し、コスト競争力を高めると同時に、生産能力を高めることにより、ハイブリッド・ステッピングモータの世界シェア首位を目指して参ります。

新社員寮の建設

本年2月から、当社では、人員増強に伴い手狭になった旧社宅・寮（群馬県桐生市相生町）を取り壊し、同地に新たな社宅・寮を建設中です。

現在、当社では3Q6S活動を中心に就業環境の改善を進めておりますが、住環境の改善は社員の意欲向上にもつながるものであり、広い意味での就業環境整備の一環と位置づけています。

来年2月に完成予定であり、10階建て・全139戸を収容する高層マンションとなり、若手社員を中心とした従業員の生活の拠点となります。



(完成予想図)

事務服・作業服のデザイン一新

本年4月1日をもって、当社の事務服及び作業服のデザインを一新いたしました。いずれも従業員の投票によって選ばれたもので、作業服はコーポレートカラーの青を基調としたものです。

当社では数十年ぶりの制服改定であり、現代的なデザインを取り入れ、現在の職場環境にふさわしい機能的なものとなりました。装いも新たに、従業員一丸となって会社の更なる発展に向けて邁進していきます。



連結貸借対照表

科目	当連結会計年度末 (2008年3月31日)	前連結会計年度末 (2007年3月31日)
■資産の部		
流動資産	13,605	16,636
現金及び預金	2,467	2,465
受取手形及び売掛金	7,333	8,633
有価証券	50	54
たな卸資産	3,200	4,650
繰延税金資産	385	428
その他	249	498
貸倒引当金	△79	△92
固定資産	5,944	6,664
有形固定資産	5,406	6,033
建物及び構築物	1,966	2,190
機械装置及び運搬具	1,391	1,986
土地	978	987
建設仮勘定	589	93
その他	482	777
無形固定資産	133	149
投資その他の資産	405	482
投資有価証券	135	336
繰延税金資産	93	—
その他	177	149
貸倒引当金	—	△3
資産合計	19,549	23,300

(単位:百万円)

科目	当連結会計年度末 (2008年3月31日)	前連結会計年度末 (2007年3月31日)
■負債の部		
流動負債	8,683	13,036
支払手形及び買掛金	4,497	5,277
短期借入金	2,004	5,417
未払金	622	862
未払費用	875	925
未払法人税等	81	78
製品保証等引当金	53	119
その他	551	358
固定負債	2,563	3,124
繰延税金負債	196	133
退職給付引当金	2,059	2,167
役員退職慰労引当金	5	229
その他	303	595
負債合計	11,246	16,160
■純資産の部		
株主資本	8,572	6,960
資本金	2,547	2,547
資本剰余金	3,614	3,614
利益剰余金	2,478	824
自己株式	△67	△25
評価・換算差額等	△269	180
その他有価証券評価差額金	30	115
為替換算調整勘定	△299	65
純資産合計	8,303	7,140
負債純資産合計	19,549	23,300

(注)記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

連結損益計算書

科目	当連結会計年度 (自:2007年4月1日 至:2008年3月31日)	前連結会計年度 (自:2006年4月1日 至:2007年3月31日)
売上高	35,046	32,177
売上原価	28,240	28,167
売上総利益	6,806	4,010
販売費及び一般管理費	4,753	4,570
営業利益	2,053	△560
営業外収益	409	368
営業外費用	672	572
経常利益	1,790	△764
特別利益	116	7
特別損失	78	268
税金等調整前当期純利益	1,828	△1,025
法人税、住民税及び事業税	96	99
法人税等調整額	78	327
当期純利益	1,654	△1,451

(注)記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	当連結会計年度 (自:2007年4月1日 至:2008年3月31日)	前連結会計年度 (自:2006年4月1日 至:2007年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,422	△653
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,167	△2,060
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,976	△115
現金及び現金同等物に係る換算差額	△273	21
現金及び現金同等物の増減額	6	△2,807
現金及び現金同等物の期首残高	2,519	5,326
現金及び現金同等物の期末残高	2,525	2,519

(注)記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

連結株主資本等変動計算書 (自2007年4月1日 至2008年3月31日)

項目	株主資本					評価・換算差額等			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
前連結会計年度末 残高	2,547	3,614	824	△25	6,960	115	65	180	7,140
連結会計年度中の変動額									
当期純利益			1,654		1,654				1,654
自己株式の取得				△42	△42				△42
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)					—	△85	△364	△449	△449
連結会計年度中の変動額合計	—	—	1,654	△42	1,612	△85	△364	△449	1,163
当連結会計年度末残高	2,547	3,614	2,478	△67	8,572	30	△299	△269	8,303

(注)記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

個別貸借対照表

科目	当事業年度末 (2008年3月31日)	前事業年度末 (2007年3月31日)
■資産の部		
流動資産	13,041	13,012
現金及び預金	1,774	1,602
受取手形	1,587	1,779
売掛金	5,385	6,127
製品	1,545	1,617
原材料	160	81
仕掛品	176	655
繰延税金資産	346	360
短期貸付金	1,577	180
その他	571	1,256
貸倒引当金	△80	△645
固定資産	4,655	4,878
有形固定資産	3,725	3,768
建物	1,501	1,627
機械装置	364	468
土地	1,232	1,235
その他	628	438
無形固定資産	83	93
投資その他の資産	847	1,017
投資有価証券	135	309
関係会社株式	508	584
関係会社出資金	37	37
長期貸付金	100	480
その他	67	90
貸倒引当金	—	△483
資産合計	17,696	17,890

(単位:百万円)

科目	当事業年度末 (2008年3月31日)	前事業年度末 (2007年3月31日)
■負債の部		
流動負債	7,739	8,716
買掛金	4,050	4,812
短期借入金	2,004	2,393
未払金	529	703
未払費用	669	588
未払法人税等	41	28
製品保証等引当金	53	119
その他	393	73
固定負債	2,312	2,456
繰延税金負債	196	161
退職給付引当金	1,891	1,944
役員退職慰労引当金	—	222
その他	225	129
負債合計	10,051	11,172
■純資産の部		
株主資本	7,620	6,604
資本金	2,547	2,547
資本剰余金	3,607	3,607
利益剰余金	1,533	475
自己株式	△67	△25
評価・換算差額等	25	114
その他有価証券評価差額金	25	114
純資産合計	7,645	6,718
負債純資産合計	17,696	17,890

(注)記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

個別損益計算書

科目	当事業年度 (自:2007年4月1日 至:2008年3月31日)	前事業年度 (自:2006年4月1日 至:2007年3月31日)
売上高	31,520	29,821
売上原価	27,736	27,235
売上総利益	3,784	2,586
販売費及び一般管理費	3,974	3,039
営業利益	△190	△453
営業外収益	279	119
営業外費用	520	284
経常利益	△431	△618
特別利益	1,793	7
特別損失	78	316
税引前当期純利益	1,284	△927
法人税、住民税及び事業税	16	16
法人税等調整額	210	309
当期純利益	1,058	△1,252

(注)記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

個別株主資本等変動計算書 (自2007年4月1日 至2008年3月31日)

項目	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
前事業年度末残高	2,547	3,607	475	△25	6,604	114	6,718
事業年度中の変動額							
当期純利益			1,058		1,058		1,058
自己株式の取得				△42	△42		△42
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—	△89	△89
当期変動額合計	—	—	1,058	△42	1,016	△89	927
当事業年度末残高	2,547	3,607	1,533	△67	7,620	25	7,645

(注)記載金額は百万円未満を四捨五入して表示しております。

会社概要 (2008年3月31日現在)

社名	日本サーボ株式会社
営業本部	東京都品川区北品川五丁目9番地11号 TEL:03(6702)0500(代表)
事業本部	群馬県桐生市相生町三丁目93番地 TEL:0277(53)8811(代表)
資本金	25億4,775万円 東京証券取引所 市場第2部
代表者	代表取締役社長 田島 卓也
設立	1949年4月19日
売上高	350億円(2007年度)
従業員	連結 3,919名 個別 624名
事業内容	民生用・業務用精密小型モータ、ファン・ブローア センサ及びモータ応用製品の開発・製造・販売
関係会社	日本電産株式会社

役員 (2008年6月18日現在)

役員	取締役会長	永守 重信
	代表取締役社長	田島 卓也
	取締役常務執行役員	松田 靖夫
	取締役常務執行役員<昇任>	荒川 源三
	取締役執行役員<新任>	中村 邦義
	取締役執行役員<新任>	坂本 博
	取締役	小部 博志
	取締役	澤村 賢志
	常勤監査役	住吉 公明
	監査役	服部 誠一
	監査役	井上 哲夫
	監査役	朝比奈 秀夫
	執行役員	荒井 弘
	執行役員	清水 信司
	執行役員	大田 要
	執行役員<新任>	堀口 浩
	執行役員<新任>	伊藤 嘉和
	執行役員<新任>	小松 敬

株式情報 (2008年3月31日現在)

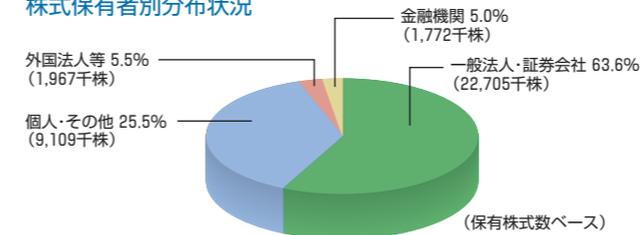
発行可能株式総数	88,000,000株
発行済株式総数	35,691,838株
資本金	2,547,750,000円
株主総数	3,246名
1単元の株式数	1,000株
株式の発行	当期中に新株式の発行は いたしませんでした。

大株主の状況(上位10名) (2008年3月31日現在)

氏名又は名称	持株数(千株)	持株比率(%)
1 日本電産 株式会社	21,492	60.22%
2 永守 重信	1,300	3.64%
3 日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	876	2.45%
4 ハンク・オブ・ニューヨーク・ヨーロッパ・リミテッド・ルクセンブルグ・131800	839	2.35%
5 資産管理サービス信託銀行 株式会社(証券投資信託口)	361	1.01%
6 日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	322	0.90%
7 シービー・ロンドン・ステイティング・ベンション・ファンズ・メタル・エン・テック	286	0.80%
8 青木 光男	260	0.73%
9 中央商事 株式会社	224	0.63%
10 六合エレメック 株式会社	202	0.57%

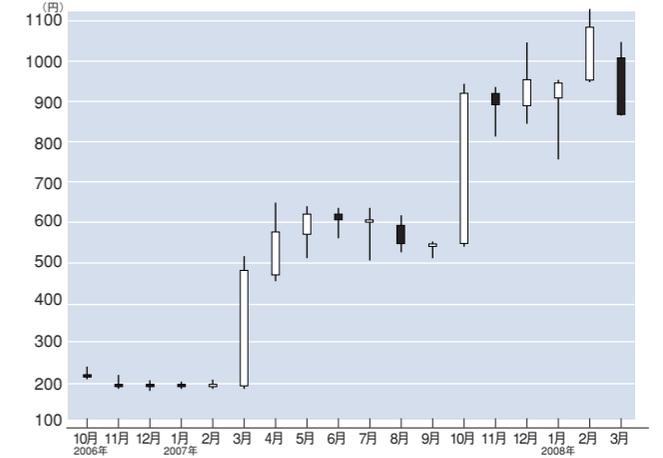
(注) 持株数は千株未満を切り捨て、持株比率は小数点以下第3位を四捨五入して表示しております。

株式保有者別分布状況



株価・出来高の推移

■日本サーボ・平均株価の推移(月足)



■株式出来高の推移

